

【大豊町】

校務 DX 計画

1 校務 DX を推進する上での課題

GIGA スクール構想が開始され、校内の年間予定表をクラウドで管理をしたり、各会でタブレットを使用することで、少しずつではあるが、ペーパーレス化等の取り組みを推進している。

しかし、保護者への配布物や会の中でも完全ペーパーレス化とは言えず、クラウドと紙媒体両方が混合している状況もある。

2 校務 DX を推進するための課題解決策

クラウドツールの積極的活用、ペーパーレス化を推進していくために先進的事例を取り入れるための視察や研修を実施して意識醸成を図る。

また、教育委員会とのやり取りの電子化を推進していく。

3 次世代校務 DX 環境の整備

令和5年3月に文部科学省がまとめた「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境を目指し、必要な環境整備について今後検討し理解を深める。

具体的な取り組みとして、FAX については、校務支援システムの連絡機能を活用することで廃止する。押印については、教育委員会への提出書類については原則廃止をし、提出についても校務支援システムの連絡機能やクラウドを活用しデジタルでのやり取りを推進する。

また、県下で統一した統合型校務支援システムの連絡機能を活用し、データでのやり取りを推進することで、児童・生徒情報管理等にともなう名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に取り組む。さらには、次世代の校務支援システムの導入につながる検討を行い、クラウドを活用したデジタル化による業務効率化を図り、校務 DX を推進する。